



### アルツハイマー病が気になる時は、早期診断を！②

今回は前号に引き続き、アルツハイマー病の治療法について述べます。

#### ☆医療機関で行う、いろいろな検査方法

医療機関では、痴呆を診断するために、次のようなことを行います。

#### ①問診、特に家族から話を聞きます。

患者さんにどのような症状が見られるのか、なぜ「おかしい」と思ったのかを、家族から詳しく話を聞きます。

#### ②全身と神経系の診察をします。

③認知機能検査を行います。認知症の程度などを調べるために行われるのは「ミニメンタルテスト(MMSE)」「と呼ばれる検査です。いくつか質問をして、口頭や筆記で答えてもらうテストです。

日は何月何日ですか」「ここは何県ですか」などから始まり、全体で20問程度、30点満点です。各質問の合計点によって、認知機能障害の程度をみます。

#### ④脳の画像検査

「MRI」でアルツハイマー病特有の脳の形態変化を調べます。しかし、早期には脳の形態変化がみられない場合もあるため、必要に応じて脳の血流を調べる検査(SPK CT)や、脳の代謝などを調べる検査(PET)など、脳の機能をみる画像検査も行われます。

#### ☆治療の試み

現在、アルツハイマー病の治療の中心となっているのが、内服薬の塩酸ドネペジル(商品名 アクトネル)による治療です。アルツハイマー病では、脳の神経細胞間で情報を伝える「アセチルコリン」が少なくなり

ます。塩酸ドネペジルはアセチルコリンが不足するのを防ぐ働きがあり、症状の進行を遅らせる効果が期待できます。

アルツハイマー病を根本的に治す治療法になつて欲しいのですが、アルツハイマー病では、実際に発症する約20年前から、脳に「アミロイドβたんぱく」という物質が沈着し始めるとされています。そこで、アミロイドβたんぱくを取り除いたり、沈着を防ぐ方法について、研究が世界中で行われています。一部の薬は、実際に患者さんが使つて効果を調べる「治験」も行われています。

しかし、病気がある程度進行すると、残念ながら、初期ほどの効果は得られません。その点でも、アルツハイマー病は早期診断が重要なのです。

「今年は何年ですか」「今

チルコリン」が少なくなり

村木クリニック

所在地 堺市中区宮園町2-1-6  
TEL 0721277166 0339